

グラフ

ふくおか

2025
WINTER
冬
No.621

特集

地域の魅力に出会える
おいしい!!楽しい!!道の駅

小特集

ブルーカーボン 環境と海を救う



皿倉山から望む北九州市の夜景

地域の魅力に出会える おいしい!! 楽しい!!

道の駅

新鮮な食品や特産品との出会いを求め、ドライブ中の休憩を兼ねて多くの人が立ち寄る「道の駅」。広い駐車場や物産直売所、フードコート設備だけでなく、アクティビティーも充実した魅力いっぱいの道の駅を、この冬巡ってみませんか。

①歓遊舎ひこさん (添田町)

地元でしか購入できない
お菓子もチェック



歴史ある民芸品も!



食事処では
天ぷら定食を堪能



スタンプラリー 2025 実施中!

九州・沖縄地区の道の駅を対象にした「スタンプラリー2025」が、2026年2月末まで行われています。道の駅で販売しているスタンプブック（税込み440円）の応募用紙に、5ヵ所のスタンプを押して応募すると、抽選で道の駅の商品（3000円相当）が当たります。「パーフェクト賞」や「九州道の駅賞」、「100駅達成賞」が用意され、達成者には認定証が贈られます。



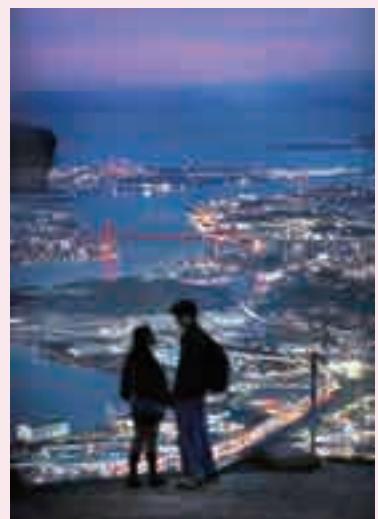
グラフ ふくおか

WINTER

CONTENTS

特集	地域の魅力に出会える おいしい!! 楽しい!! 道の駅…	02
小特集	ブルーカーボン 環境と海を救う	10
FUKUOKA PRIDE FOOD	【豊前海一粒かき】	14
Smile 移住・定住	【筑後市】	16
はっけん! フクオカ	【閑門・門司港レトロ周辺】	18
きらめきマイタウン	【鞍手町】	22
知事といきいきトーク	【桂川町】	26
県議会だより		28
花による美しいまちづくり		32

COVER STORY



笑顔咲くフクオカ

「日本新三大夜景都市」で2回連続1位に選ばれた北九州市。皿倉山からの眺望は、大河のような洞海湾、赤く輝く若戸大橋と、壮大な光のパノラマが広がります。この天空の舞台では、夜景に見入るカップルや家族連れの弾んだ声が聞こえてきそうです。

〈九州ロゴマーク〉
九州・山口・各県
と経済界で定めた
「九州」のマーク
です



詳しくは
こちら



福岡県公式
YouTube チャンネル
「ふくおかインターネットテレビ」



2 むなかた (宗像市)

新鮮な魚介が
勢ぞろい!



5 おおとう桜街道 (大任町)

＼ 雨を気にせず楽しめる ／



4 筑前みなみの里 (筑前町)

＼ 焼きたての米粉パンの香りが漂う ／



3 みやま (みやま市)

フードコートには
人気のスイーツ
や軽食も



6 おおき
(大木町)



おおとう桜街道

鉄道全7トコさん

7 豊前おこしかけ (豊前市)



道の駅

歓遊舎ひこさん (添田町)



伝統の 「英彦山がらがら」も

ここで購入できる「英彦山がらがら」は、約800年の歴史を持つ土鉢で、元々は魔よけや田畠の害虫よけのお守りとして親しまれてきました。県知事指定の特産民工芸品でもあり、鉢に描かれた赤色は太陽、青色は水を意味し、「ガラガラ」と乾いた音色が特徴です。



ビジターセンター誕生

道の駅ロビーには、町の観光スポットや特産品を紹介するビジターセンターが11月に誕生。オリジナルブレンドコーヒーや特産品を使ったカフェメニューも提供し、新たな“にぎわい拠点”を目指します。

靈峰・英彦山の麓で 山がもたらす恵みを満喫

地元・添田町産の旬の野菜や米などをそろえる物産館やレストラン、地下水「山靈の水」をくんで持ち帰れるスタンドなどもあり、多くの家族連れでにぎわいます。

赤土で育つ 新鮮野菜！

「金の原」と呼ばれる肥沃な赤土が広がっていて、ここで採れる野菜が町の自慢です。支配人の井上貴司さんが胸を張ります。

冬の物産館には、ダイコンやハクサイ、カブ、ホウレンソウなどの产品が並びます。井上さんによると、赤土で育った根菜類は特に甘くなり、山の中腹で育った野菜は寒暖差の影響で張りと鮮やかさが増すといいます。

農薬や肥料の使用量などを記録

した栽培管理表が館内にあり、希望すれば見せてもらいます。「栽培方法もちゃんと管理していますので安心して召し上がってください。食べればきっと『野菜ってこんなにおいしいんだ！』と感動するはずです」と井上さんは言います。



地元食材の加工品も充実

添田町産の食材を用いた総菜や弁当、加工品を扱うコーナーも人気です。売れ筋は、季節を問わずに「柚子胡椒」。辛いもの好きに人気のハバネロやブートジョロキアを使った商品をはじめ、減塩タイプなどさまざまそろえています。10人以上が出品しており、好みの味に出会えるはず。このほか、英彦山の天然水を利用した手づくりコンニャク、風味豊かな味噌や地酒なども並んでいます。





おすすめ! 紅生姜天うどん

敷地内では、レストランも営業。食事処「山びこ食堂」では、色鮮やかな紅生姜天うどんや、天ぷら定食などが味わえます。中華料理店のほか、地元婦人部の皆さんがつきたての餅を販売する「もち工房」もあります。



道の駅「歓遊舎ひこさん」



添田町野田1113-1
0947-47-7039



電話一本で
全国発送に対応

遠方の人のために地方発送を受け付けています。「品数が多い午前中に連絡をもらえば、いいものを選べます」と井上さん。注文は電話で。

「山靈の水」ご当地サイダー

敷地内には、地下水「山靈の水」をくむことができるスタンドがあります。物産館での利用金額に応じてコインが手渡され、コイン1枚で2リットルの水が出ます。地下水は「雑味のない味」で、コーヒーをいれるのにぴったりなのだそう。

「山靈の水」を使ったご当地サイダー「英彦山サイダー」も人気。さっぱりさわやか、はじける味が特徴です。原料に町産の米「夢つくし」を加えた「米サイダー」は、米のほんのりとした甘さが楽しめ、お土産にもおすすめです。

道の駅

むなかた
(宗像市)

購入は
こちらから



新鮮な海の幸が勢ぞろい オリジナル商品も多数!

旬の魚介類を求めて
各地から

魚を頭から尻尾まで味わいたい
人におすすめ——。宗像市沖には
流れが速く波が荒い海域が広がり
ます。魚の身は引き締まり、冬は
栄養を蓄えようと脂の乗りが特に
良くなります。

「一尾まるごと購入する人が多
いです。プロの料理人も買い付け
に来ますよ」と話すのは、総務企
画部長の尾園博保さん。鮮魚コー
ナーには、地元・鐘崎の漁師が
取った大物や、神経抜きで活き絞
めにした地魚が並びます。魚は一
尾150円で三枚おろしにしても
られます。

60種類以上の
オリジナル商品

プライベートブランド（PB）

の商品も充実しています。豊漁、
豊作の時に食材を無駄にしないよ
う冷凍保存して加工します。アナ
ゴ、ヤリイカのピザやパスタ、地



420ml
650円

110g
400円

わかめドレッシング、 のり佃煮（しそ味）

豊かな香りとやわらかさが
特長の、宗像産天然ワカメ
をふんだんに使用した商品。
ドレッシングは磯の香りを感
じる醤油ベースで、カルパッ
チョなど魚料理との相性も抜
群です。

うまい！寒ぶり茶漬け

寒ブリシーズンの12月中旬～2月中旬
は、市内飲食店で「寒ぶり茶漬け」を提
供するイベントが開かれます。期間中は
道の駅で、真
空パックにし
た冷凍「ブリ
茶漬け」も販
売します。



九州の道の駅で「売り上げナンバーワン」を維持し続け、旅行専門誌による「全国道の駅グランプリ2025」では2位に輝きました。近隣に、県内有数の水揚げ量を誇る漁港があり、冬は寒ブリやトラフグ、クエ（アラ）などが旬を迎える、2月頃からはワカメも並びます。ダコのアヒージョなど、これまでに60種類以上のPB商品が誕生しました。



2

道の駅「むなかた」



宗像市江口1172
0940-62-2715



道の駅

みやま
(みやま市)

味自慢のセロリとミカン フードコートも楽しんで

みやまの特産が 大集合

「セロリは全国的に有名で、西日本でトップの生産量です」と、駅長の久富慎太郎さん。11月頃から店頭に出来始め、収穫は6月頃まで続きます。シャキシャキ食感とみずみずしさが特徴で、直売所では一株丸ごと売られています。

果物では「山川みかん」が有名。11月中旬から早生ミカンが収穫され、糖度が高く甘みが凝縮された果肉を味わえます。1月～2月頃になると晩生ミカンが並びます。

有明海の珍しい魚も

直売所には鮮魚店も入居。濃厚な味のワタリガニや、寒い時期にはイイダコやハゼ、有明海に生息するクツヅコ（シタビラメ）などが入荷することも。淡泊で身がしつかりしているクツヅコは煮付けにすると絶品で、地域自慢の郷土料理です。



有明海で取れたワタリガニ

隣接のフードコートには、軽食やスイーツを提供する9店舗が並んでいます。精肉店が営む「ニクダイナー イワナガ」では、地元の米と卵を使ったおにぎり「玉めし」が人気。醤油で味付けしたご飯に、半熟卵がまるごと包まれています。八女茶を販売する「水茶屋樹徳庵」の名物は「抹茶のパフェきよみず」。抹茶ソフトの上に白玉や小倉あん、黒蜜などがかかっており、運転の疲れを癒やしてくれそうです。



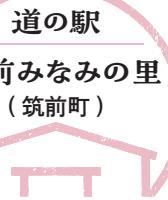
「玉めし」、
抹茶パフェ
etc...

農業が盛んな筑後地域。直売所の7割は野菜コーナーで、冬場は、みやま市特産のセロリとミカンが旬を迎えます。有明海の幸とともに、フードコートの軽食やスイーツにも注目です。





里山で懐かしい手作りの味を



「パンが焼けましたよ！」の声とともに、町内産の米で作った米粉パンの香りが直売所内に広がります。農産物が品薄になってしまふ午後の時間帯も、訪れた人に満足してもらえるよう、パンを開発し、人気商品に育ちました。

商品の8割超が町内産で、野菜は100%地場産を守ります。「町の旬が集まります」と駅長の福丸未央さんは笑顔を見せます。

早朝からの利用客が多く、土

日・祝日の朝にオープンする「おにぎり屋さん」の炊きたてごはんのおにぎりとみそ汁も人気です。

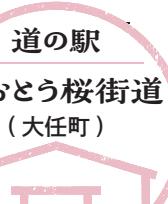
一角には町がブランド化に取り組む黒大豆「筑前クロダマル」を扱うコーナーがあり、煎り豆やきな粉、ドレッシングなどがそろいます。手作り加工品もあり、クロダマルの豆腐や煮豆のほか、筑前煮やぬか漬けなど、懐かしい味が楽しめます。

筑前クロダマル

味わって



親子で楽しめる施設がたくさん



「親子で一日ゆっくり楽しめる場所」。支配人の梅林英三さんはそうアピールします。2025年3月には「ふれあい広場」がオープン。海賊船をイメージした大型アスレチックやブランコ、ターザンロープや電動ゴーカートがあり、大勢の家族連れでにぎわいます。広場内にあるボールプールなどが並ぶ屋内施設「こどもはうす」では、0～12歳の年齢別でエリアに分かれて遊べます。さらに、敷地内にある天然温泉を活用し

「親子で一日ゆっくり楽しめる場所」。支配人の梅林英三さんはそうアピールします。2025年3月には「ふれあい広場」がオープン。海賊船をイメージした大型アスレチックやブランコ、ターザンロープや電動ゴーカートがあり、大勢の家族連れでにぎわいます。広場内にあるボールプールなどが並ぶ屋内施設「こどもはうす」では、0～12歳の年齢別でエリアに分かれて遊べます。さらに、敷地内にある天然温泉を活用し



ニンニクなどの加工品が推し



直売所には、納豆をはじめ地元産の素材を使った加工品がそろいます。熟成黒ニンニクのドレッシングや、地元で健康に良いと伝わる「ニンニク球」といった特産品を販売しています。

た温浴施設「さくら館」には露天風呂や家族湯、サウナもあり、旅の疲れを癒やせます。

道の駅

おおき
(大木町)

キノコのもぎ取り 体験が大人気



6

道の駅「おおき」



大木町横溝1331-1
0944-75-2150



大木町菜種 100%の身体に優しい菜種油



大木町産の菜種を昔ながらの製法で絞った『わのかおり』は、無添加にこだわった風味豊かな油です。天ぷらのほか、ドレッシングなどにもおすすめです。

などをポットで育成しています。
駅長の渡部みつるさんは「大木町といえどもアピールしたい」と意気込んでいます。



7

道の駅「豊前おこしかけ」



豊前市四郎丸1041-1
0979-84-0544



周防灘の恵みや 山の幸いろいろ

道の駅

豊前おこしかけ
(豊前市)

豊前市に誕生した県内2番目の道の駅で、「周防灘に面した温暖な気候で、海の幸・山の幸がそろいます」と、駅長の様澤弘樹さんは話します。
直売所には冬の時期、味が濃厚な「豊前海一粒かき」が殻付きで入荷します。また、豊前市南部の求善提山で採れる「豊前

石に腰掛けて休んだ伝承から、その地域は「おこしかけ」と呼ばれていました。
2000（平成12）年3月、

その昔、神功皇后が巡幸の際、棚田ゆずを使った加工品も人気。同駅限定で販売されている「ゆずペースト」のほか、12月には新商品のユズのクラフトビールが発売されます。

サクサク!鰯カツバーガー



夏場に取れるハモも有名で、隣接するフルードコートでは、鰯カツバーガーを味わえるほか、直売所では廃棄されていた頭や骨を焼き上げたオリジナル商品「黄金の焼鰯だし」を販売しています。

ブルーカーボン 環境と海を救う

私たちの食卓を支える豊かな海産物を育み「海のゆりかご」といわれる藻場。藻場を形成する海藻や海草の光合成によって蓄積される炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、脱炭素社会の実現に向けて大きな役割が期待されています。県では昨年、産学官による「福岡県ブルーカーボン推進協議会」を設立し、海洋環境の変化やウニによる食害で荒れてしまった藻場を再生させる試みを進めています。ウニの駆除や採捕・養殖を通じて豊かな海を取り戻すための奮闘の舞台裏に迫りました。



(写真提供) 一般社団法人ふくおか FUN

ブルーカーボン
創出までの流れ

①産業活動などで
CO₂排出

②排出された
CO₂が
海に溶け込む

③海に溶け込んだ CO₂を
海藻・海草が吸収・固定

ブルーカーボン



ウニの駆除・採捕



メリット
3

得られた
資金を活用

ブルーカーボン
創出の
一石三鳥



藻場回復 + 水産資源育成

メリット
1



メリット
2

CO₂固定量(削減量)を企業などに販売

ウニ養殖で漁業者の所得向上

九州大学と連携し、ドローンを用いた CO₂ 固定量
の算定技術を開発

豊かな海を残す！ 水産高生の挑戦



(写真提供)福岡県立水産高校

潜水技術 活動に生かす

県立水産高校（福津市）では、潜水士を目指す海洋科マリン技術コースの3年生が、学校で培ったダイビングの技術を生かし、藻場の保全のためのウニの駆除や、陸上の草で藻場を再現した「インスタント藻場」の設置・観察に取り組んでいます。

同校は今年7月、福岡県海洋開発協会や福岡県漁業協同組合連合会などと、海で働く人材の育成で協力する「みらうみプロジェクト」の協定を締結。専門家の持つ高度な専門知識や技術で生徒の活動を後押ししています。

今年6月、同コースの「藻場保全班」が恋の浦海岸で活動に着手。生徒たちはウェッ

トスーツを着て1時間ほど海中に潜り、海藻を食べ尽くす。海中では波の流れに逆らった。海藻を間引く作業を進めました。海藻を保つ必要いながらバランスを保つ必要があるため、作業は大変だとあります。しかし、同班の渡邊慧さんは「少しでも魚を増やすことができるため、作業は大変だとあります。しかし、同班の渡邊慧さんは「少しでも魚を増やすことはうれしい」と

話します。

「インスタント藻場班」は九州大学水産実験所の指南を受け今年5月、福津市内の水

辺に生えているヨシで作った藻場を学校前の海中に設置。3週間かけて、魚の隠れ家や産卵場所になるかどうか、様子を定期的に観察しました。今後も設置場所を変えるなどして、観察データの収集・分析を行う計画です。同班の古藤真裟斗さんは、「後輩たちに役立つデータを残した

い」と意気込みます。こうした取り組みを校外に発信するのが、「広め隊」です。

小中学校や県ブルーカーボン推進協議会の事例報告会で、仲間を代表して活動の内容や成果を発表しています。原動

力は「将来、海で働く仲間にたくさん入学してほしい」との思い。「豊かな海を残すことは大切」としっかり伝えていきたい」と、広め隊の川野大地さんは話します。



渡邊慧さん



古藤真裟斗さん



川野大地さん



福岡県立水産高校

1954(昭和29)年に創立され、翌55(同30)年、福津市の景勝地・津屋崎海岸に開校した。4級海技士や潜水士の資格取得を目指す海洋科、食品の開発や流通について学習する食品流通科、水生生物の生態や漁業経営などを学ぶアクアライフ科の3学科がある。全国優勝した端艇部など、部活動も盛ん。定員160人。

福津市津屋崎4-46-14
0940-52-0158

漁協の未来 ウニが拓く！



ワカメの端材をウニの餌として
再利用

2200個販売 「新たな収入源に」

玄界灘と響灘からなる筑前
海に面した岡垣町の波津漁



筑前海では2011（平成
23）年頃からムラサキウニが
増え続け、藻場を食い荒らし、
磯焼けが進みました。その結果、
増えたムラサキウニは身
が少なくて売り物にならず、
取る人が減っていきました。

漁協では、高齢化を理由に
漁をやめる組合員が多い一方
で、後継者が不足するなど、
別の課題も山積しています。
そこで、河村さんは「船を下
りた組合員や、漁業に就いた
ばかりの後継者の収入源にな
り得る」と、ムラサキウニを
採捕し、養殖を始めました。

餌となるワカメのやり方を
試行錯誤する中で、多くのウ
ニが死んでしまうトラブルに

うに取り組みを続けたい」と
表情を引き締めました。

港。波穏やかな港内に漂う2
基のイカダに結びつけられた
カゴでは、約3000個のム
ラサキウニが養殖されていま
す。



ウニの状態を確認する河村さん

おいしい誇りを食卓に

File.28

大粒の身と濃厚な味わい

豊前海一粒かき

冬の海の幸の代表格「マガキ」。県には多彩なブランドカキがあります。その一つが、豊前海で養殖される「豊前海一粒かき」です。焼いても、蒸しても、おいしいカキを紹介します。

福岡を代表するブランド

県水産海洋技術センター
豊前海研究所（豊前市）によると、「豊前海一粒かき」は1983（昭和58）年に北九州市門司区恒見で養殖がスタート。県内のカキ養殖の発祥とされています。現在は北九州市、苅田町、行橋市、築上町、豊前市、吉富町の6市町で年間1300～1600トンを出荷しています。ミネラル豊富な豊前海で育つカキの魅力は何といっても、大粒の身と濃厚なうまみ。宅配や直売所で殻付きのまま販売するのが特徴です。

北九州市の東部に広がる曾根干潟。その沖合にはカキの養殖イカダが浮かびます。豊前海北部漁業協同組合恒見支所に所属する漁師・江口英利さんは、父親が始めたカキ養殖を受け継ぎました。

一粒ずつ手間を惜しまず

「豊前海一粒かき」には、漁業者の養殖方法の工夫とこだわりが詰まっています。養殖中にフジツボなどの生物が殻に付着すると、カキの餌となるプランクトンを食べてしまい、カキが十分に生育できなくなります。この課題を解消するため、出荷の1ヶ月ほど前に海からカキを引き上げ、一粒ずつ殻に付着したフジツボなどを除去。きれいにして、再度、イカダにつるして生育を促します。





1. 一粒ずつきれいにする手間を惜しまない 2. 養殖イカダから「豊前海一粒かき」を引き上げる
3. 機械での洗浄作業



豊前海北部漁協恒見支所が運営するカキ小屋。海の見えるロケーションで、「豊前海一粒かき」の炭火焼きが味わえます。数量限定で販売するカキ飯も自慢の一品。お米の一粒一粒までカキのうまいが染みています。今シーズンは1月8日にオープン予定。

恒見焼き喰い処どころ
北九州市門司区猿喰
新門司海浜緑地内
080-2720-5861



安心して味わえるように、出荷時にもひと手間を加えます。紫外線で殺菌処理した海水に1日浸することで、高品質で安全・安心なカキを消費者に届けます。こうした丁寧な作業が、ブランドへの信頼と

価値を高めているのです。江口さんは「濃厚なうまいが凝縮され、何度も食べたくなる自慢のカキ」と語ります。水揚げは例年12月から3月。1月から3月は特においしくなるそうです。



暮らしの中で、私たちらしい挑戦を

「豊かさとは何なのか」——。千葉県出身の直哉さんと佐賀県出身の摩智子さん夫妻は、神奈川県川崎市での生活を続ける中で、移住を真剣に考えるようになつたそうです。ものづくりに関心がある直哉さんは木工作家を目指し、摩智子さんはこれまでの経験を生かしてグラフィックデザイナーとして、昨年7月に移り住んだ筑後市で、夫婦二人三脚で歩みを進めています。

肌に合う「ものづくり」文化

2016（平成28）年に結婚した、運送業に携わっていた直哉さんと、アパレル関係のグラフィックデザイナーとして勤務していた摩智子さん。「妻の実家へ行くたびに豊かな食や生活環境に魅了され、『いざは移住を』と考えるようになりました」と直哉さんは振り返ります。

10～30歳代は音楽活動に情熱を注ぐ一方、手先の器用さから自宅用や知人の依頼で、棚や椅子などの家具も作っていた直哉さん。生活の新しい拠点を「九州のどこかで」と考えてはいましたが、2023年に東京で開催された移住フェアで、全国有数の家具産地がある福岡県に注目しました。翌2024年には、福岡県での暮らしや仕事に触れる「福岡くらし」と体験」に参



2人が手がけた作品



「道が分からぬときは付き添つて案内してくれるし、市役所でも親身になって対応してもらいました」と話す2人。地域の人々の支えにより、ほっと一息つける生活を楽しんでいる。

筑後市の支援制度

・地方創生移住支援金

東京、大阪、名古屋圏から移住して、就業または起業した人に支援金(単身で60万円、2人以上の世帯で100万円、子ども加算あり)を交付します。

・マイホーム取得支援事業

転入者が市内に住宅を建築または購入するなどの条件に該当した人に、住宅(土地は含まれない)の固定資産税相当額(上限15万円)を3年間支給します。
※いずれも対象となる人には要件があります。

※予算上限に達し次第受付終了します。

筑後市ホームページ
筑後市に住む
「移住・定住情報」



福がおへかくらし

福岡県移住・定住
ポータルサイト

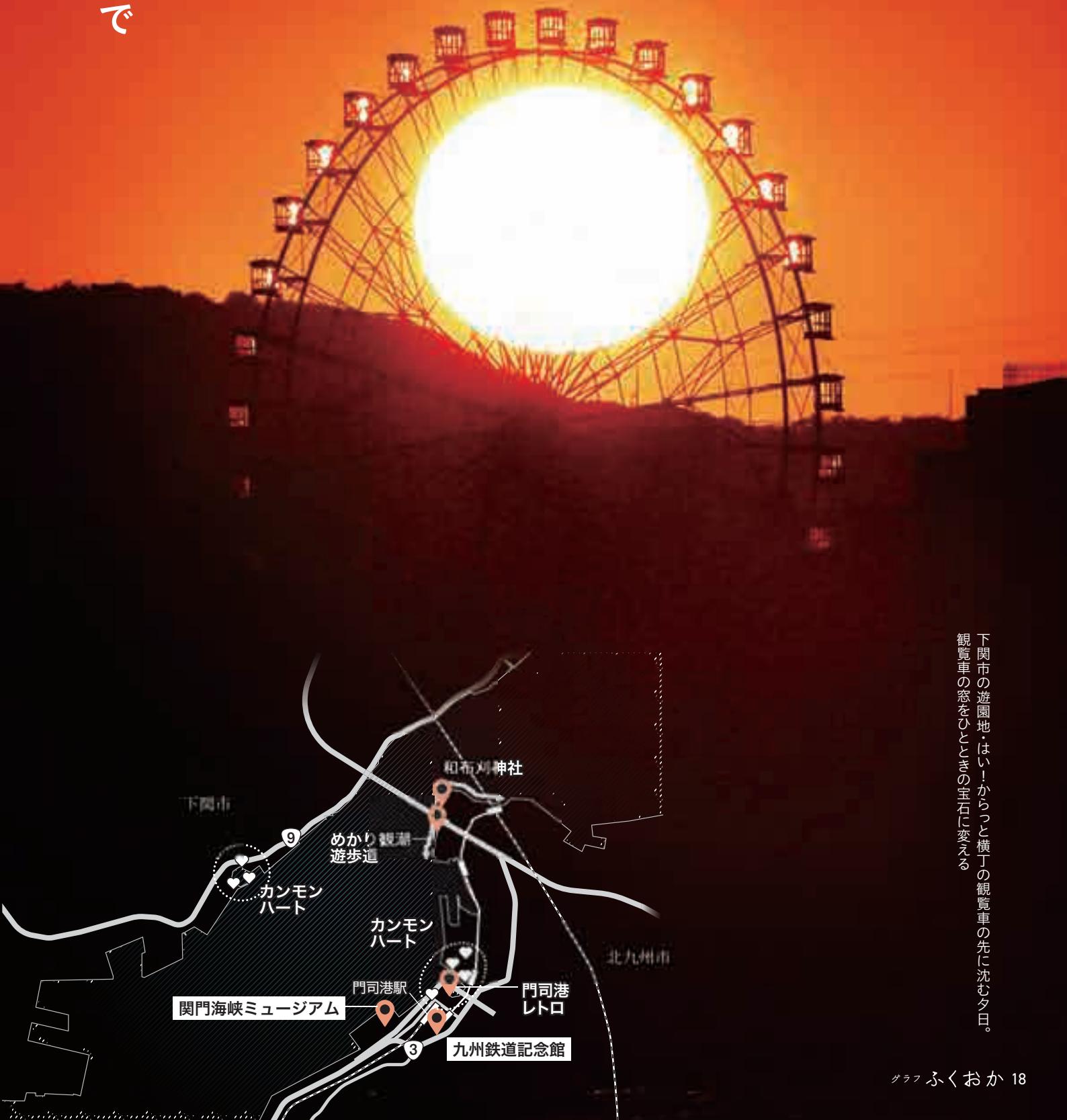


心豊かな暮らし、2人で前へ

移住から約1年半が経過し、「広さに圧倒された」という県営筑後広域公園が2人のお気に入りの場所。プールを利用したり、近くのカフェに立ち寄った後に散策したりしています。直哉さんは「木作家として『空間』を豊かにする家具を生み出したい」と意気込み、摩智子さんは「周囲とのつながりを作りながら、デザインを通して地域の仕事や文化に関わっていきたい」と笑顔で話します。筑後市での穏やかな暮らしを満喫しながら、2人で一歩ずつ「自分たちの形」を築いています。

摩智子さんは「筑後や八女、広川などエリア全体に根付く『ものづくり文化』が自分たちの肌に合うと思いました。伝統を生かしつつ、新しいものにもチャレンジする雰囲気も決め手になりました」と話します。加し、筑後市や大川市などを訪れました。

オレンジ色の海峡で



下関市の遊園地・はい!からつと横丁の観覧車の先に沈む夕日。
観覧車の窓をひとときの宝石に変える



めかり観潮遊歩道の先には関門海峡ミュージアムが見える

夕日に染まる港町に それぞれの時間

関門・門司港レトロ周辺（北九州市門司区）



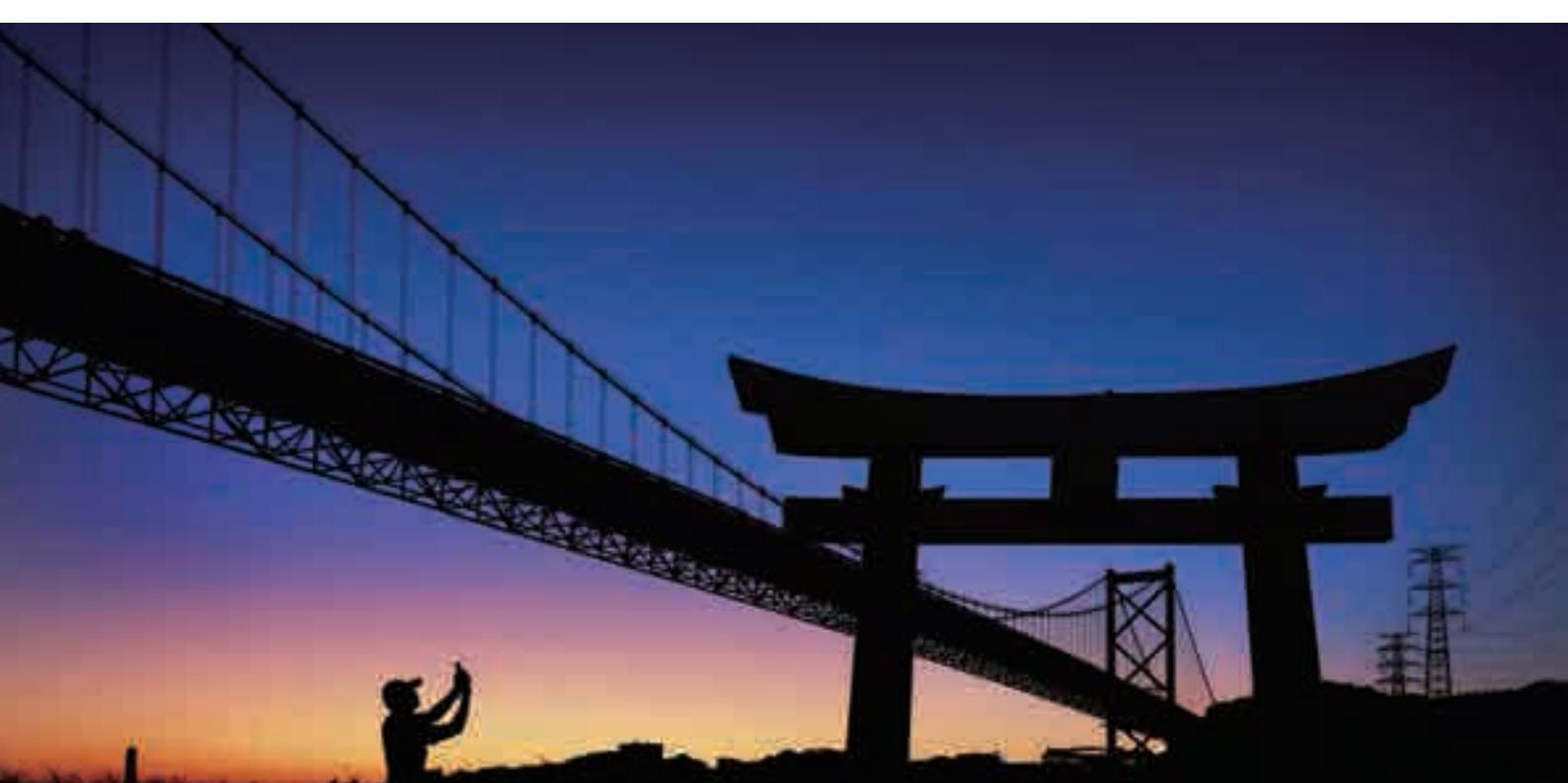
今年でグランドオープ
ンから30周年を迎えた北九州市門司区の「門司港レトロ」。海岸線に沿って30分ほど北へ歩くと、九州本土の最北端に鎮座する1800年前に創建された和布刈神社があります。

夕暮れ時、関門海峡の対岸には炎のように赤い太陽が沈み、遊園地の観覧車が黄金色に輝いて見えました。

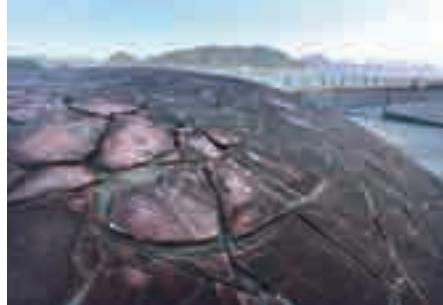
和布刈神社の周りには、海

峡を見渡しながら歩ける「めかり観潮遊歩道」が整備されています。刻々と変わる空に浮かぶ、和布刈神社の鳥居と九州と本州を結ぶ関門橋。そのコントラストの美しさに誰もが魅了されます。

大小の船が行き交う海峡を眺める人、静かに夕日を見つめる観光客、のんびりと釣り糸を垂れる地元の住民——。それぞれの時間が、タ刻の港町で静かに重なり合います。



和布刈神社の鳥居と重なる関門橋のシルエット



恋人たちの“聖地”としても大人気の関門エリアには、通称「カモンハート」という七つのハートが隠れています。門司港レトロに四つ、下関に三つあります。

門司港レトロの旧門司税関そばにある大きなハート、赤レンガの壁や、海沿いのベンチ、歩

道に刻まれたハートは、形も大きさもさまざま、一つ一つ表情が異なります。

門司港から下関の唐戸地区までは連絡船で5分ほど。ショッピングモールのカモンワーフ前のオブジェや灯台、水族館「海響館」の付近を探してみてください。

クリスマス、そしてバレンタインなど、私たちの心を自然と浮き立たせてくれるこの季節。「ハートを見つけたら幸せになるかも?」。宝探しの気分で海峡の街へ出かけてみませんか。





＼探してみよう！／
幸せの「カンモンハート」

このハートたちは、関門海峡や街の景色がきれいに見える場所にそっと置かれています。担当の職員が、歩く人の目線まで考えながら、1ヶ月ほどかけて一つ一つの場所を決めたそうです。



明治時代に建築された赤レンガ造りの本館には、九州の鉄道資料やジオラマなどを展示。屋外には、蒸気機関車など歴代の名車両9台を展示している。レール幅450ミリメートルの鉄道で、「つばめ」や「かもめ」など五つの列車が走る「ミニ鉄道公園」は、こどもたちにも大人気。

北九州市門司区清滝2-3-29 ☎ 093-322-1006

2日に染まる港町
一見どこう
02

九州鉄道記念館



2日に染まる港町
一見どこう
01

関門海峡
ミュージアム



門司港レトロ地区の中核施設として2003（平成15）年にオープン。「関門海峡をまるごと楽しむ体験型博物館」がコンセプトで、館内では国際貿易港で栄えた街並みを表現した「海峡レトロ通り」などが楽しめ、展望デッキでは関門海峡を一望できる。

北九州市門司区西海岸1-3-3
☎ 093-321-4151（門司港レトロ総合インフォメーション）

笑顔が創る未来

縄文時代から豊かな歴史と文化を受け継ぎ、人々の生活が脈々と當まってきた鞍手町は、福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、2025年1月に町制施行70周年を迎ました。「ひとが輝き笑顔あふれるふれあいのまち」を目指して、「ひとの笑顔が地域を創る」をキヤッチフレーズに、新たな時代へと歩みを進めています。

1

鞍手町歴史
民俗博物館、
こども広場



日

本の近代化を支え、

鞍手町の発展を牽引

した石炭産業。役場庁舎の

隣に立つ鞍手町歴史民俗博

設し、2025年5月にリ

物館は、町の礎を築いた炭
鉱の記憶を後世に伝える石
炭資料展示室（別館）を新

ニューアルオープンしました。

石炭資料展示室では、ライトが付いたヘルメットと懐中電灯を貸し出しており、当時の姿で室内を巡ることができます。リアル感を出すために照明を落としました。

大規模炭坑の道具



坑道の様子をリアルに再現



本館では、縄文時代の暮らしを伝える新延貝塚の実物の貝層、古月横穴や新延大塚古墳の出土品のほか、

像資料などによって、当時の活気や厳しい作業環境を体感できます。

昭和の家庭の暮らしを紹介するコーナーもあり、町の現場のジオラマや貴重な映像資料などによって、当時の活気や厳しい作業環境を体感できます。

大規模炭坑の道具

博物館そばには、大型遊具を備えた「こども広場」が2024年11月に誕生。斜面を上つて遊ぶクライミングや幼児向けのコーナーもあり、こどもたちの元気な歓声が響いています。



斜面を利用したクライミング施設

問い合わせ

鞍手町役場

〒鞍手町小牧 2080-2 ☎ 0949-42-2111

<https://www.town.kurate.lg.jp/index.html>



2

剣岳自然公園

町のほぼ中央にある剣岳は「鞍手富士」の愛称で親しまれています。山頂の自然公園には、室町時代の応仁年間に築かれた城跡の一部が残り、町の景色が一望できます。剣岳の中腹に立つ八剣神社には、三種の神器の一つ「草薙の剣」がヤマトタケルノミコトによって納められたという伝説があります。



巨峰・巨峰サイダー



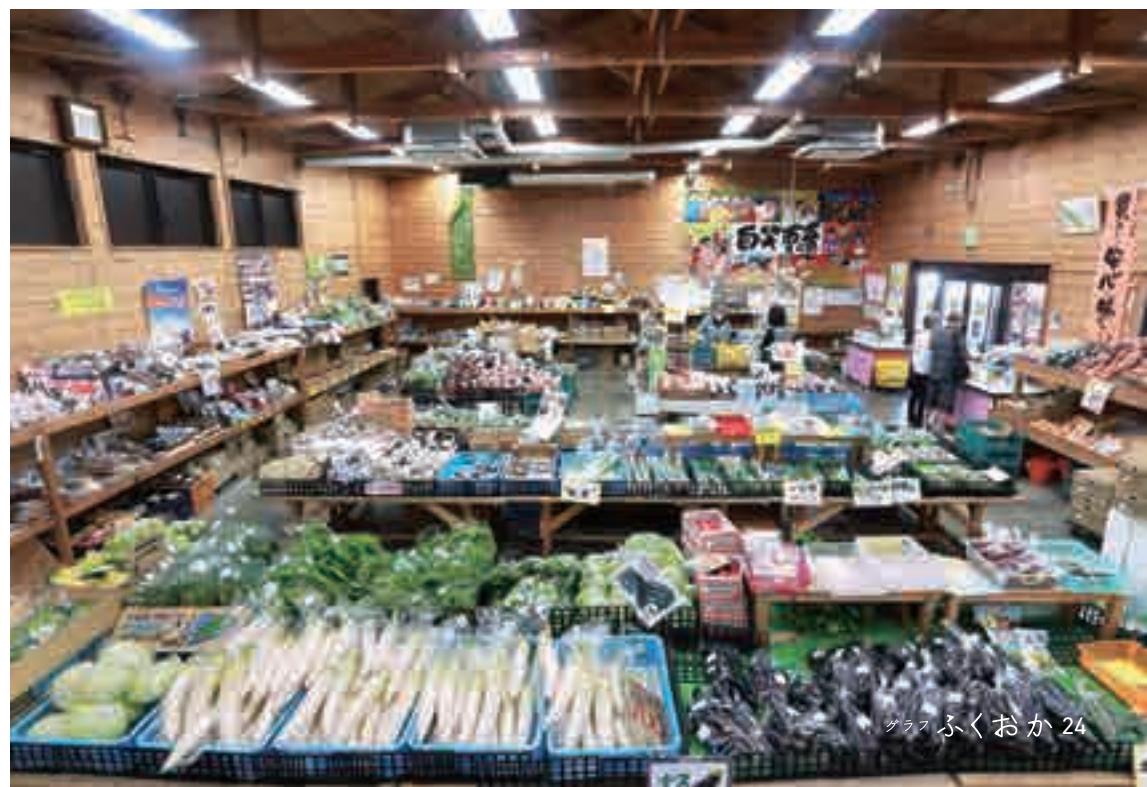
鞍手町は県内有数の巨峰の産地です。戦後、炭鉱のボタ山の南側斜面を利用して栽培が始まり、現在の生産面積は約40ヘクタールと筑豊地区で最大になりました。「鞍手ぶどう」の名でブランド化に取り組んでいます。

この巨峰を使った微炭酸飲料が「やさしい巨峰サイダー」。季節を問わずに自慢の味を届けたいと、JA直鞍が商品化を進め、町のふるさと納税返礼品にもなっています。



3 サングリーン 鞍手

JA直鞍の農産物直売所。県道55号沿いの緑色の屋根が目印です。旬の朝採り野菜を手頃な価格で購入できます。地元の農産品を使った総菜やドレッシングなどの加工品も人気があり、週末には地元はもちろん遠方から訪れる客でにぎわいます。



鞍手町

おすすめスポット



ながたにまんねんがん 永谷万年願盆綱引き

毎年8月14日の夜、永谷地区の真教寺山門前で地元住民が上組と下組に分かれて、大綱引きを盛大に行います。江戸時代に飢餓と悪疫から救った

博多の豪商・白水幽心の恩恵を忘れず、先祖の菩提に供えるために万年願をかけた盆綱引きが行われるようになったといわれます。



長谷觀音

長谷寺にある国指定の重要文化財「木造十一面觀音立像」。地元では「長谷觀音」と呼ばれています。頭頂から台座の蓮肉部まで一木で造られ、平安時代前期の様式を受けた気品のある美しい姿が特徴。春の大祭(4月17、18日)と秋の大祭(10月17、18日)で、ご開帳されます。



知事と
いきいき

トーク



2025年
11月14日
桂川町

いきいき

トーク

「歴史のまち」桂川町 過去から未来へ 羽ばたく教育を展開

知事が各地へ出向き、地域で活躍中の皆さんと意見交換する「知事といきいきトーク」。今回は、古代の歴史が息づく桂川町を訪問し、地域ぐるみで「こどもたちを育む取り組みについて語り合いました。

地域とのつながり

教育長 保育園や学校だけでなく、子育て・教育全般を地域ぐるみで支えてもらっていることこそが桂川の宝です。

加美 私たちの保育園では、地域とのつながりを大切にしています。園児以外の親子も参加できるベビーマッサージ教室や、季節の行事を楽しむ催しも企画。子育てで大事な「ちょっと相談できる場」を増やしたい、と取り組んでいます。

知事 地域のコミュニティーが変わり、核家族化が進んだ今、リラックスした雰囲気で相談ができる場は貴重。男性の育儿参画が進む中、県は父親の子育ての悩みに応えるため従前の子育て電話相談に加えて、今年10月、「パパのための子育て相談ダイヤル」を新たに開設しました。こどもたちの未来のため、共に頑張っていきましょう。

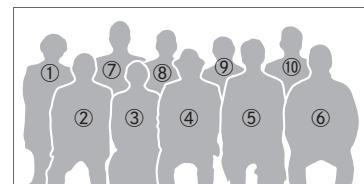
初の中学生海外派遣

安藤 初の海外派遣事業として今夏、他校の1名を含む計8名の生徒たちがフィリピンのマニラ・セントラル大学（MCU）を訪ねました。本校の目指す生徒像である「気づき、考え、実行する」につながる事業でした。

上田 MCUを訪ねると、初対面と思え

ないほど温かく迎えてくれました。中学部の授業は黒板や教科書がなく、自由な席でグループの話し合いを重視したスタイルが新鮮でした。友達同士の会話はタガログ語、授業は英語と、2言語を使いこなす姿にも驚き、私自身、もっと英会話を練習したいと思いました。今後も国際交流に参加して考えを深めるとともに、チャンスをもらえることに感謝し、挑戦を続けたいです。

知事 先生方が熱意と愛情を持って生徒に向かい、社会へ羽ばたく人材を育て



桂川町で
活躍する皆さん

●加美 景子さん①

まめた保育園 園長

●安藤 能之さん②

桂川中学校 校長

●上田 こころさん③

桂川中学校 3年生

●幸田 猛さん④

桂川町郷土史会 会長

●諫山 慶秀さん⑤

桂川町立図書館 館長

●國本洋規垂さん⑥

桂川町商工会 青年部 部長

高橋 義彦 県議会議員⑦

●服部 誠太郎 県知事⑧

井上 利一 桂川町長⑨

●大庭 公正 桂川町 教育委員会 教育長⑩



桂川町の ココが推し!



王塚古墳・ 王塚装飾古墳館

桂川町寿命376(王塚装飾古墳館)
0948-65-2900



6世紀の前方後円墳で、1952(昭和27)年に国特別史跡に指定。国内最多の6色で盾や三角文などの文様を描いた豪華絢爛な装飾壁画で知られる。隣接する王塚装飾古墳館は、精巧な構造を再現した石室のレプリカなどを展示している。(2025年11月現在休館中。再開時期はホームページなどで告知予定)



JR 桂川駅

桂川町豆田131-6
0948-65-3330(町建設事業課)
0948-65-1106(町産業振興課)



駅周辺の利便性向上とにぎわい創出のため、2021年に新しい駅舎と南北を結ぶ約40メートルの自由通路が完成。駅1階には観光案内・待合スペース「keisen まちプラザ」があり、駅の外壁には古墳壁画の文様をイメージした装飾が施されている。隣接地には町営駐車場も整備されている。



ゆのうら体験の杜

桂川町土師4670-1
0948-65-3663



2018(平成30)年にオープンした町営の宿泊・体験施設。小学生のサマーキャンプやスポーツクラブの合宿などに多く利用されている。客室6室のうち2室は和室で、小さい子ども連れにも人気。館内では料理教室などのイベントを定期的に開催している。



ていらっしゃるのは素晴らしいです。
まさに実践的な英語能力が求められて

いる今、県では高校生向けの「Stand Ford e-Fukuoka」プログラムを実施しています。ぜひ夢を追ってチャレンジしていってください。

幸田 郡土史会は会員22名で、年2回の王塚古墳の特別公開での説明や案内のはか、近隣の古墳や遺跡を巡るバスハイクも年数回、行っています。町に貴重な遺跡があることを特にこどもたちに知つてほしいです。特別公開は全国から各回2000名近くが訪れます、今年は4月の古墳館の火災のため中止になってしましました。来年は開催できることを願っています。

知事 立派な展示館があり、かねて観光振興の活性剤になると思っていました。復旧後にはぜひPRし、知名度をもつと上げていきましょう。

郷土愛 力カルタで育む



諫山 昨年、郷土カルタの「桂川そつぐカルタ」を、町や県の協力のもと図書館の全職員で制作しました。「そつぐ」は方言で「歩き回る」という意味。カルタに描かれたスポットを巡って、郷土の良さを感じ、これから地域づくりにも参加してもらいたいという思いをこめて名付けました。催しを定期的に開き、楽しく活用していきたいです。

知事 こどもから大人まで、遊びながらふるさとのことを学べるのはいいですね。地元を知り入り口として期待でき、地域の皆さんとの連帯も生まれそうです。



國本 商工会青年部は20~40歳代の約30名で、夏まつりを主催するなど地域貢献活動をしています。小学4年生を対象とした「いのちの授業」は、若者の自死問題に対し何とかしたいという思いから始め、今年で9回目。身近な命を亡くした当事者の講話を直に聞いてもらうなどしています。

知事 命の大切さを肌身で感じてもらい、思いやりのある人を育てることは重要なですね。

本日は地域の皆さんのが一体となつてこどもたちを支え、育んでいこうといふ素晴らしい取り組みについて伺うことができました。ありがとうございました。

県議会だより

常任委員会

常任委員会は、その所管に属する県の事務に関する調査および議案、請願などを審査するために設置されています。本県議会においては、総務企画・地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察の8つの常任委員会が設置されています。今回は次の5つの委員会を紹介します。

農林水産委員会

農林水産委員会は、農林水産業の生産基盤の整備、農林水産物の生産および流通の安定、農林水産業生産組織の育成強化、農林水産業関係試験研究機関の整備、農山漁村環境の整備、山地・林地など自然環境の保全、食と農林水産業に係る啓発、農林水産業のDXの推進などについて審査および調査を行っています。

写真向かって右から



戸成 祥平
塩生 好紀
永島 弘通
渡辺 美穂
原竹 岩海
○井上 寛
◎吉田 浩一
松本 國寛
桐明 和久
浦 伊三夫
宮原 伸一

県土整備委員会

県土整備委員会は、公共用地取得の推進、道路整備事業、河川改修および河川総合開発の促進、海岸・港湾整備事業、急傾斜地の崩壊防止などについて審査および調査を行っています。

写真向かって右から



吉松 源昭
新開 嵩将
稻又 進一
亀崎 大介
井上 博隆
○波多江祐介
◎花田 尚彦
原口 剑生
中牟田伸二
香原 勝司
靄林 大我

建築都市委員会

建築都市委員会は、住生活基本計画、公営住宅の管理、都市計画、公園・街路の整備、下水道の整備、建築指導行政の推進、県有施設の整備、行政改革などについて審査および調査を行っています。

写真向かって右から



大田 満
江口 善明
江藤 秀之
井上 忠敏
○西尾 耕治
◎宮川宗一郎
佐々木 徹
田中 雅臣
川上 多恵
福地 幸子
富安 正直

(◎印は委員長、○印は副委員長)



※福岡県議会ホームページでは、本会議情報、委員会情報、議員紹介などの掲載の他、会議録の検索と閲覧、議会中継を実施しています。



写真向かって右から

◎ 高橋 義彦
○ 嘉村 香月
○ 今林 久
○ 川端 正幸
○ 渡辺 耕一
○ 小緑 貴吏
新井 富美子
室屋 美香
松下 正治
中村 香月

化に対応した教育の改善・充実、教職員の定数・給与および勤務条件の改善、県立教育施設の充実、学校週5日制の弾力的な実施、生涯学習の振興・充実、保健体育・スポーツの振興、文化財の保護、私学振興、青少年の健全育成、学校や地域社会における児童生徒の安全対策などについて審査および調査を行っています。

文教委員会

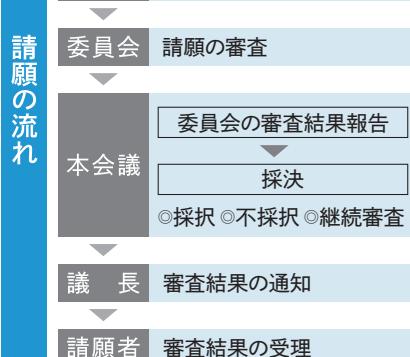


写真向かって右から

◎ 桜島 徳博
○ 樋口 明
○ 松尾 統章
○ 藏内 勇夫
○ 岩元 一儀
○ 大田 守谷
○ 新開 昌彦
新井 富美子
室屋 美香
松下 正治
中村 香月

警察委員会は、暴力団犯罪の取り締まり、少年の非行防止および健全育成対策、交通安全施設の整備、風俗営業など取り締まり対策、麻薬および密貿易取り締まり対策、警察署の管轄区域などについて審査および調査を行っています。

警察委員会



◆ 陳情

陳情（要望書、要請書、決議書、嘆願書なども含む）とは、請願と同様に、県議会に対し、住民の方々が要望や意見を述べる制度ですが、県議会議員の紹介を必要としません。陳情は、本会議での採決は行いませんが、住民の方々の要望や意見を県の政策に反映させるため、関係の委員会に回付され、必要に応じて質疑が行われます。

提出する際は、請願と同様、必要事項を記載し、署名または記名押印の上、議長宛てに提出してください。なお、陳情は、県議会のホームページから電子申請により提出することもできます。この場合、署名および押印は必要ありません。

県議会への請願と陳情について

県議会の動き

決算特別委員会の審査概要

県議会の最近の取り組みについて、その一部を紹介します。



▲決算特別委員会の審査風景

は、付託された「令和6年度福岡県一般会計決算」など20件の議案について9日間の日程で審査が行われました。

主な内容は次のとおりです。

○ワンヘルスの取り組みについて

（感染症対策における九州各県や経済界との連携につづけて）

○地方税の偏在是正について

○ 信濃一ヶ領の産業 二〇二

102

100

【審査の結果】

付託された20件の議案について、委員会の最終日に採決が行われ、いずれの議案も認定、または原案可決および認定すべきものと決しました。

○小中学生の学力向上について
この他にもさまざまな課題について活発な質疑が行
われました。

- 困難な問題を抱える女性への支援について
- 保育士の確保と待遇の改善について
- 林道整備について
- 商工施策について
- （現在の特例措置を維持したプレミアム付き地域商品券の発行支援についてなど）
- 「福岡県水道ビジョン」および水道法改正に係る

8月18日、一般社団法人全日本フリースタイルBMX連盟の出口智嗣理事長、真鍋佑希事務局長などが県議会を訪問され、藏内勇夫議長、中尾正幸副議長をはじめ、スポーツ議員連盟役員などがお迎えしました。

全日本フリースタイル BMX 連盟 理事長による議会表敬



マイナビ presents 2025 アジアBMXフリースタイル選手権は9月13日から15日まで筑後広域公園BMXパーク(筑後市)で開催されました。

◎香原 大島 神崎 大田 道人 勝司
富安 浦田 井上 吉岡 伸一 満 聰
正直 大治 寛 玲子 京子 宗一郎
新開 川上 豊福るみ子 原竹 林 高橋 井上 野原 玲子
嵩将 多恵 昌彦 岩海 泰輔 義彦 隆士 博行
花田 尚彦 川端 耕一
吉田 浩一 秋田 章二
守谷 正人 波多江祐介
嘉村 耕治
西尾 耕治
吉松 露林
源昭 大我 薫

(○印は委員長、○印は副委員長)

大阪・関西万博 ワンヘルスシンポジウム

9月28日、大阪・関西万博でワンヘルスシンポジウムが開催され、パネルディスカッションに世界獣医師会次期会長ならびに公益社団法人日本獣医師会会長である藏内勇夫氏議長がファシリテーターとして参加しました。



第79回国民スポーツ大会

9月28日、第79回国民スポーツ大会（9月28日から10月8日まで開催）総合開会式が平和堂HATOスタジアム（滋賀県）で開催され、中尾正幸副議長、スポーツ立県調査特別委員会の中牟田伸二委員長、田中雅臣副委員長、スポーツ議員連盟の井上順吾会長、吉田健一朗事務局長が出席しました。

開会に先立ち、福岡県選手団の現地結団式が行われ、中尾副議長は、「選手、スタッフ、県民の皆さんに、最高のフィニッシュをお見せできるよう、チーム福岡一丸となつて戦いましょ」と選手の皆さんを激励しました。



マイナビ ソール・ド・九州 2025福岡ステージ

マイナビ ツール・ド・九州
2025 福岡ステージ

10月11日、マイナビ ツール・ド・九州
2025 福岡ステージが開催され、スタートセレモニー、表彰式に藏内勇夫議長が出席しました。

筑後広域公園（筑後市）で開催されたスター
トセレモニーにて、藏内議長は、「選手が並ん
でいる『ワンヘルス・カーボンゲート』は、人
と動物の健康と環境の健全性は一つ」という『ワ
ンヘルス』の理念を象徴的に表しています。沿
道からの応援を力に変え、大いに頑張ってくだ
さい。選手の皆さんの奮闘を期待しています」
とスタートナーとしてあいさつしました。





真っすぐ凜と美しく 一輪仕立ての「輪菊」

凜とした立ち姿の輪菊。茎が真っすぐ天に向かって伸び、ふっくらと大きな花が一つ、先端に開きます。

「真上から見るとパスポートの菊の紋みたいでしょ。葉の濃い緑と花びらのコントラストを楽しんで」と、輪菊を手がける大塚さんは話します。

福岡県は菊の出荷量が年間6230万本、作付面積が176ヘクタールで、ともに全国上位。産地の八女地域では、日長時間^{にのちじょう}を変えて開花時期を調整する電照栽培により、一輪仕立ての輪菊の生産が盛んです。

「花瓶に挿していると、つややかな花びらがだんだん開きます。成長する姿に見とれてしまいます」。電照栽培の菊生産者をまとめる坂田さんは笑顔を見せます。



JAふくおか八女 電照菊部会

部会長 坂田常男(さかた ときお)さん=奥

副部会長 大塚隆徳(おおつか たかのり)さん=手前

0943-23-1164



花による美しいまちづくり



まちを花で彩ることで、
子どもからお年寄りまで、
誰もが住みたいと思う
花あふれる福岡県を目指しています。

詳しくは
こちら
QRコード

駅前の道に花で彩り (筑紫野市)

「学校へ行く子どもや通勤する人たちが、喜んでくれたらうれしい」。ボランティア団体「ちくしまちレンジャー」の大中早苗さん^{おおなか さなえ}は言います。

団体は10年以上前から、西鉄天神大牟田線・筑紫駅西口の花壇を管理しています。メン

バー8人は、今年6月から、まちを花でいっぱいにするという県の取り組みにも賛同し、月に2回集まって、草取りや水やりなどの手入れを続けています。

また、年2回、花の植え替えを行っており、今季はナデシコやビオラなどを植えました。ほかにも、マリーゴールドなど鮮やかな色合いの花々が道行く人の目

を楽しませています。

大中さんは「もっともっと、たくさんの笑顔を咲かせられるように活動を続けたい」と話します。



ちくしまちレンジャーの皆さん



個人情報の取扱いについて

グラフふくおか
2025 WINTER (通巻621号)
令和7年12月22日発行 (季刊)

発行/福岡県 県民情報広報課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

092-643-3102 (直通) フax 092-632-5331

製作/株式会社 読売新聞西部本社

